
オープニング

鉄氷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
オープニング

【Nコード】
N6544U

【作者名】
鉄氷

【あらすじ】
2作品目、wikiでは5作品目（埋め合わせ）となっています

梓「あ、あの・・・」

ティータイムで騒がしくなる時間、梓がモジモジした態度で私に話しかける

漣「どうしたんだ？」

梓「C a g a y a k eの名前を呼ぶパートがあるじゃないですか」

漣「そうだな」

梓「私が名前を呼ぶの、その、唯先輩にしてもらえませんか？」

漣「なんだそういうことが、全然いいぞ」

梓「ありがとうございます」

なんで梓がこういうお願いをしてきたかは容易に窺える（うかがえる）

ムギ情報だが最近唯が梓に呼び捨てをしてよと言ってるらしい
唯らしい提案だ

私は急きょ歌詞を書き換え録音を始めた

唯「歌えばShining After School」

梓「唯！」

うん歌詞通りいけてるな

唯「梓！」

あれ？そんな順序だっけ？

梓「唯！」

唯「梓！」

梓「唯！」

二人「永遠にループする」

そこで二人以外の全員が演奏をやめた

律「歌詞違うぞ〜？」

唯「えへへっい」

梓「す、すいません」

漣「じゃあもう一回」

唯「歌えばShining After School」

梓「唯！」

唯「梓！」

梓「唯！」

唯「梓！」

梓「唯！」

漣・律「・・・真面目にしような？」

紬「たまにはいいじゃないの？」

梓「は、私としたことが！カムバック私！」

唯「おかしいなあ」アセアセ

梓「次はちゃんとしましょう！」

以下略

漣・律「・・・」

紬「ふふふ」

梓「もう疲れました・・・」

唯「私もだよあずにゃん」

しばらく唯と梓は私の熱いお仕置き浴びせてました
二人「ごめんなさいいいい！」end

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6544u/>

オープニング

2011年10月9日10時20分発行